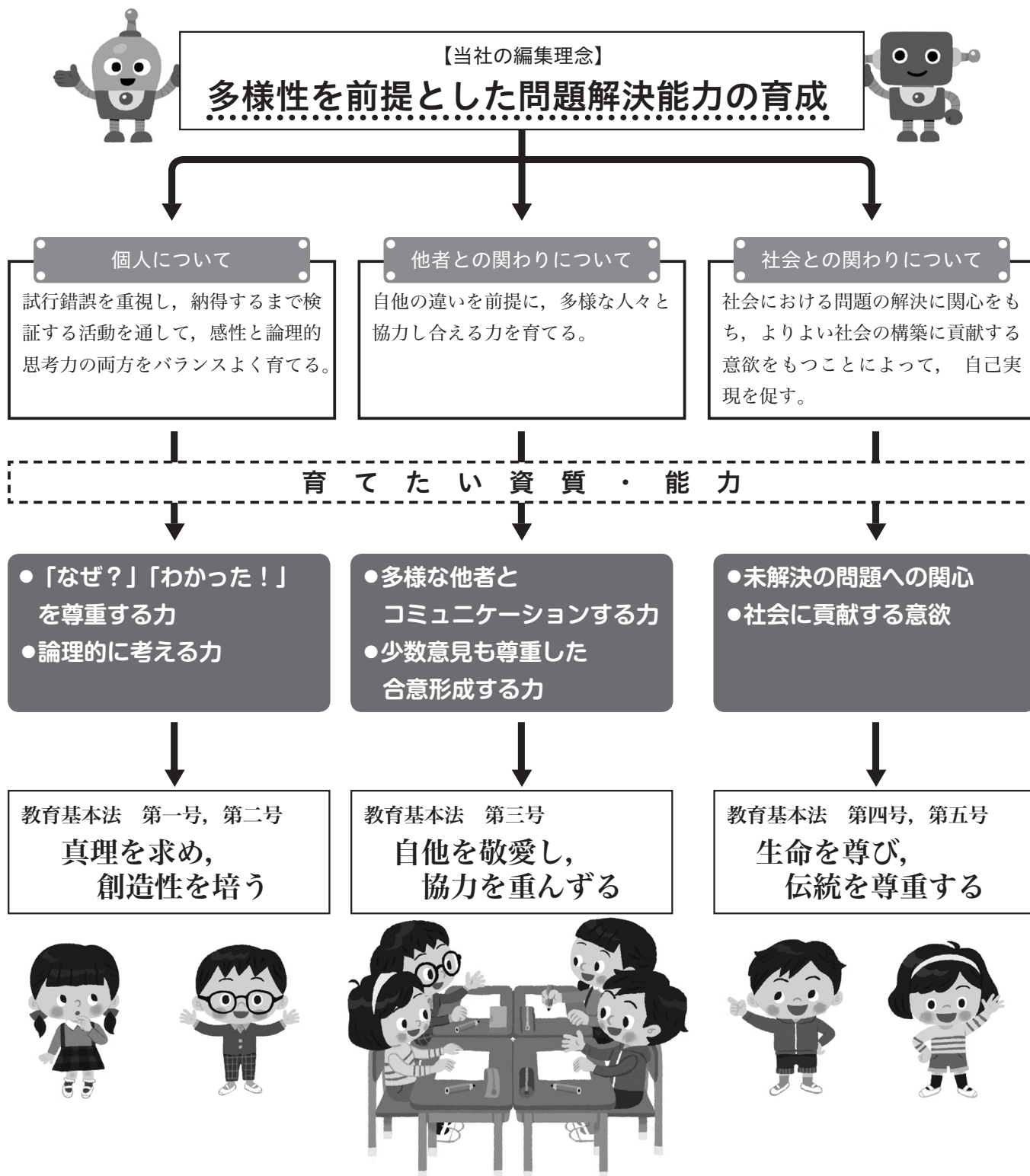


① 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-9	小学校	算数	算数	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	算数 104・105	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 1ねん上・下		

編修の基本方針



教育基本法を大前提として、上記資質・能力が育成されるよう、次のように様々な工夫をこらして教科書を編集しました。

真理を求める態度を養う

1 わからない。だから学ぶ。

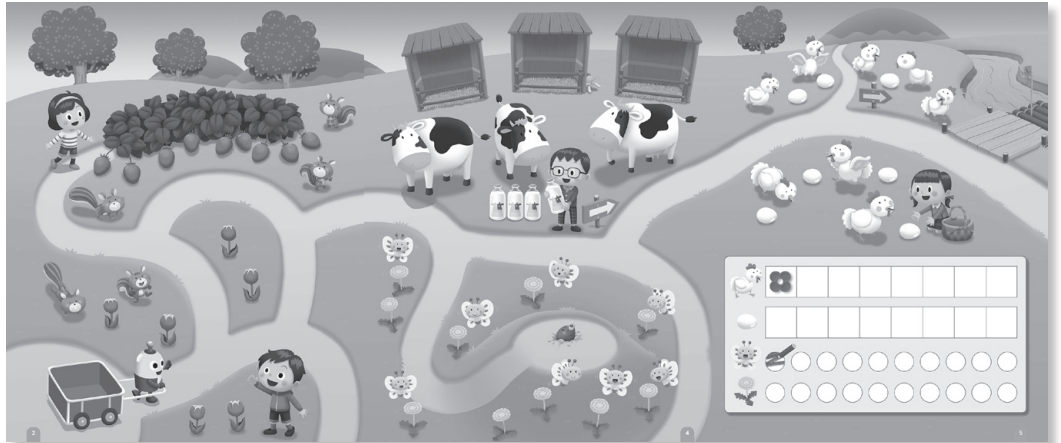
一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

生活の中、算数の中から、問題を発見し、解決するために必要な幅広い知識と教養を身に付けるとともに、問題解決能力を養うことができるようになりました。また、解決できたと考えても一度立ち止まり、批判的に見直すことで、真理を求める態度を養うことができるようになりました。

○問題を見つける

▶▶▶ 上巻 P.2 ~ 5

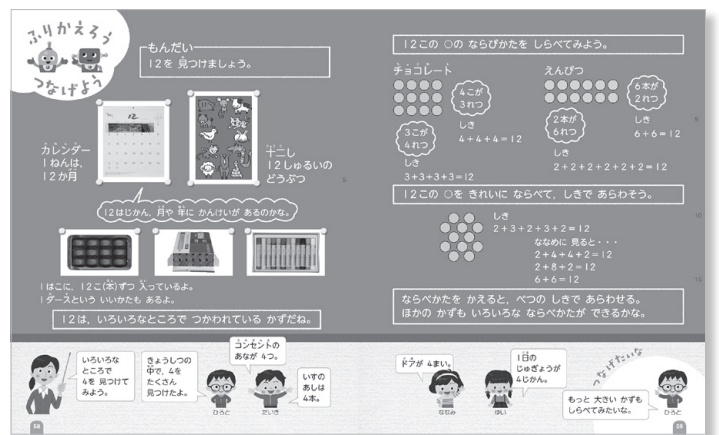
わかりやすいイラストや写真、身のまわりの場面から、問題を見つけ、意欲的に問題解決に取り組むことができるようにしました。



○ふりかえり、新しい問題を見つける

これまで学習してきたことをふりかえり、学習が身に付いているかどうかを確認すると同時に、次に繋がる問題を発見していくことができるようにしました。

▶▶▶ 下巻 P.58 ~ 59



創造性を培う

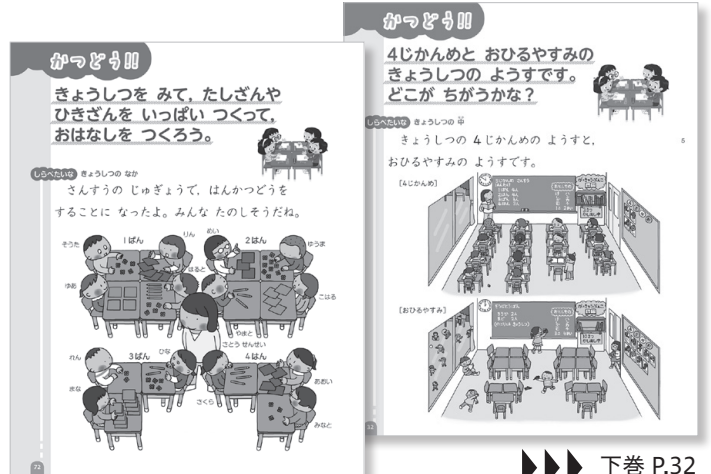
2 そこにある算数。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

身のまわりの生活の中に、算数が潜んでいることに気づくとともに、それらを算数を通した視点で観察することで、自らの数学的な創造性を培うことができるようになりました。

○身のまわりにある算数に気づく

教室の中にあるものを使った算数の問題づくりを通して創造性を培い、身近なところに算数が潜んでいることに気づくことができました。



▶▶▶ 上巻 P.72

▶▶▶ 下巻 P.32

伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する

5 日本の算数。

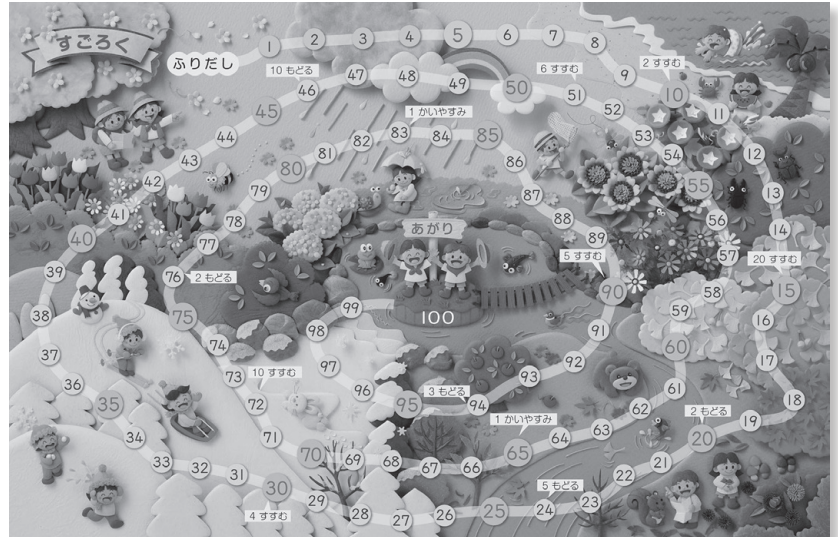
五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

日本の自然、伝統文化等を学習の素材として取り入れ、興味・関心を喚起することによって、それらをこれからも大切にしていこうとする態度を養うことができます。

○伝統に触れながら算数を学ぶ

数える対象として「きんぎょ」など、日本の伝統的な生き物を取り扱うようにしました。また、すごろく遊びも取り入れています。

▶▶▶ 下巻 P.87～88



▶▶▶ 上巻 P.33



2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全章	<ul style="list-style-type: none"> 教材の選択にあたっては、児童の生活に根ざし、豊かな情操と道徳心が養われるように配慮しました。(第一号) 男女平等の精神にのっとり、教科書に掲載する男女児童の名前はすべて「さん」付けとしました。(第三号) 4人の成長するキャラクターを設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮しました。(第三号) 	全般
入門期	<ul style="list-style-type: none"> 様々な動物たちを掲載し、生命や自然を大切にする心を育ていけるように配慮しました。(第四号) 	上2～5ページ
① 10までの数	<ul style="list-style-type: none"> 輪投げを通して、数を学ぶ活動を取り入れることで、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。(第五号) 	上20ページ
② いくつといくつ	<ul style="list-style-type: none"> おはじきを使って数を数える活動を通して、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。(第五号) 	上27～28ページ
③ あわせていくつ ふえるといくつ	<ul style="list-style-type: none"> 問題を絵に表す学習において、他者がした工夫を認めるとともに、それを自らの学びに活かそうとする態度を養うことができるように配慮しました。(第一、第三号) 	上37ページ
④ のこりはいくつ ちがいはいくつ	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題としており紙の教材を取り入れることで、日本の伝統文化の一端に触れることができるように配慮しました。(第五号) 	上53～54ページ

⑤なんばんめかな	・様々な動物のいる位置を表現することで、生命や自然を大切にすることを育んでいけるように配慮しました。(第四号)	上 66～68 ページ
⑥いくつあるかな	・果物を題材として扱うことで、健やかな身体を養うことに気づくことができるように配慮しました。(第一号)	上 70～71 ページ
⑦ 10 よりおおきいかずをかぞえよう	・自然の中のリスやどんぐり、くるみの数を数える活動を通して、生命や自然を大切にすることを養うことができるように配慮しました。(第四号)	上 74～76 ページ
⑧なんじなんじはん	・自分の生活を振り返るような展開とすることで、生活していく上で自ら計画を立てる自主及び自立の精神の育成に配慮しました。(第二号)	上 84～85 ページ
⑨かたち (1)	・形を使った活動の中で、創造性を培うとともに、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第二、三号)	上 86～91 ページ
⑩たしたりひいたりしてみよう	・バスに乗る場面を設定することで、社会の形成に参画する意識を育むことができるように配慮しました。(第三号)	上 92 ページ
⑪たしざん	・たし算カードを使って、クラスでゲーム活動を行うことで、他者との協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	下 8～9 ページ
⑫ひきざん	・どんぐりを使ったこまを作る題材を取り上げ、自然を大切にすることを養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 11 ページ
⑬くらべてみよう	・テープを使って、木の幹のまわりの長さを測る活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 25 ページ
⑭ 20 より大きいかずをかぞえよう	・水槽の中にいる魚の数を数える活動を通して、生命を尊ぶ態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 38 ページ
⑮なんじなんぷん	・朝から夕食までの時間について話をする中で、豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮しました。(第一号)	下 48～49 ページ
⑯たすのかなひくのかなずにかいてかんがえよう	・山登りの場面、牧場にて牛を観察する場面を取り上げることで、自然を大切にすることを養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 51～52 ページ
⑰かずしらべ	・ペットボトルのふたを集める活動を題材とすることで、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 60～61 ページ
⑱かたち (2)	・色板や棒を使ったいろいろな形作りを通して、創造性を培うことができるように配慮しました。(第二号)	下 62～64 ページ
巻末付録	・伝統的な遊びであるすごろくを取り入れ、文化や郷土を大切にすることを育成することに配慮しました。(第五号)	下 87～88 ページ

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 学校教育法第二十一条二、四の目標を達成するために単元末の「深めよう」では、児童の視野を、学年を追うごとに学校、地域社会、日本、世界へと広げていけるように配慮し、日本の文化、外国の文化を理解しようとする態度を養うことができるようにしました。また、その題材は、生活に深く関る文化や環境といった内容を取り上げ、それらの基礎的な理解を養うことができるようにしました。
2. 学校教育法第二十一条九の目標を達成するために、低学年の計算場面では、式を書く前に必ずその場面の絵をかかせ、子どものイメージを豊かにする配慮をしました。

① 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-9	小学校	算数	算数	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 104・105	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 1ねん上・下		

編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的に学びたくなる

→ ストーリー性のある導入

子どもが学びたくなるようなイラストで算数の学習を導入することにより、創造性を育むとともに、主体的に数についての知識を学びたくなるようにしました。



上巻 P.1 ~ 16

これから一緒に学習をしていく友だちをさそいに、プレゼントを用意しながら迎えに行くというストーリーを背景に、集合数を学ぶ活動を取り入れました。



➡ ~したいな

子どもの学び方を「~したいな」と表現して、子どもの思考力・判断力・表現力を促しながら学習が進められるようにしました。(1年生は下巻から)

① 3人のかんがえていているところやちがうところはどこですか。

ひろとさんのかんがえ
 (1) 10をつくるには、8とあと2。
 (2) 6を2と4にわける。
 (3) 8と2で10。
 (4) 10と4で14。

ゆいさんのかんがえ
 (1) 10をつくるには、6とあと4。
 (2) 8を4と4にわける。
 (3) 6と4で10。
 (4) 10と4で14。

ななみさんのかんがえ
 (1) 8を5と3、6を5と1にわける。
 (2) 5と5で10。
 (3) のこり3と1で4。
 (4) 10と4で14。

2 主体的、対話的で深い学びの実現

主体的な学びの実現に向けては、1ですすでに取り上げたように、様々な問題に対して、「~したいな」という表現を用いて学習が進められるようにしてあります。ここでは、対話的で深い学びについて取り上げます。

➡ かつどう !!

アクティブ（活動）のページを設定することで、自分で考え、班で考え、クラス全体で考える等の段階を意識した活動を通して、主体的（自分で）、対話的（班で）、深い学び（クラス全体で）が実現できるように配慮しました。

下巻 P.32 ~ 33

かつどう !!

きょうしつをみて、たしざんやひきざんをいっばいつくって、おはなしをつくらう。

さんずうのじゅぎょうで、はんかつどうをすることに なったよ。みんな たのしそうだね。

上巻 P.72 ~ 73

しるんでかんがえたいな

1 たしざんやひきざんのおはなしとしきをいっばいつくってほかのともだちにつたえましょう。

ともだちとおなじおはなしとしきができますか。ちがうおはなしとしきができますか。

かつどう !!

4じかんめとおひるやすみのきょうしつのようすです。どこがちがうかな？

しるんでかんがえたいな

きょうしつの4じかんめのようすと、おひるやすみのようすです。

しるんでかんがえたいな

1 4じかんめのきょうしつとおひるやすみのきょうしつのちがいをたくさん見つけてはっぴょうしましょう。

2 4じかんめのきょうしつとおひるやすみのきょうしつのちがいをたしざんやひきざんのしきにしておはなしをつくらう。

はんでかんがえたいな

3 つくったおはなしをはんではっぴょうしましょう。そしておきにりのしきとおはなしを1つきめましょう。

さいしょにはっぴょうのじゅんばんをきめましょう。きめたらじゅんばんにはっぴょうしましょう。

クラスでかんがえたいな

4 はんの中でおきにりのおはなしをはっぴょうしましょう。

どのおはなしがいちばんむずかしかったかな。

教室の情景から、たし算やひき算のお話づくりをする活動を取り入れました。

→ いまのじぶんをしよう！

パフォーマンス評価の考えを取り入れ、学年末に「今の自分を知る」ページと自己評価表を掲載しました。繰り返し評価できるようにして、学年が進むにつれて自分の成長が実感できるように配慮しました。

下巻 P.74

いまのじぶんをしよう！

しん1年生にプレゼントをつくろう

しん1年生になにをあげたいかな。 [学校さんすうクイズ]をつくらせてプレゼントしよう。

学校のことがよくわかるようにしてあげたいね。

がくしゅうしながらよくわかるようにしたいね。

1. たしざんクイズ

わたしたちのグループは[たしざんクイズ]をつくります。

たしざんクイズ

1年生の先生の入すは、3人です。

2年生の先生の入すは、4人です。

あわせてなんですか。

1年生の先生 2年生の先生

あわせていくつになりますか。

たしざんのおはなし

「△の かずと △の かずを あわせると ぜんぶでいくつになりますか。」

「△の かずに △の かずを ふやすと ぜんぶでいくつになりますか。」

「1かいから おどりばまでの かいだんの かずと おどりばから 2かいまでの かいだんの かずは あわせていくつかな。」

いろいろな たしざんクイズ を つくってみよう。

2. ひきざんクイズ

ぼくたちのグループは [ひきざんクイズ]をつくらせます。

ひきざんクイズ

4月から9月生まれの人は、15人います。

10月から3月生まれの人は、9人います。

どちらが なんん おおいですか。

ひきざんのおはなし

「△の かずは、△の かずよりいくつ おおい(すくない)ですか。」

「△が □にありました。△こ つかうとのこりはいくつ になりますか。」

いろいろな ひきざんクイズ を つくってみよう。

3. かたちクイズ

わたしたちのグループは [かたちクイズ]をつくらせます。

学校の 準にある [かたちクイズ]を つくらせます。

いろいろな かたちクイズ を つくってみよう。

4. とけいクイズ

ぼくたちのグループは [とけいクイズ]をつくらせます。

学校の 準にある [とけいクイズ]を つくらせます。

いろいろな とけいクイズ を つくってみよう。

下巻 P.72 ~ 73

新1年生に算数に関するクイズをプレゼントする活動を取り入れました。

自己評価では、自己肯定感もてる配慮をしています。

いまのじぶんをしよう！

1. 学びにむかう力

① クイズをつくって たのしかった。

② がくしゅうしてきたことが やくに たった。

2. がんばる力、きめる力

① さんすうをつかた クイズを ほんんできた。

② クイズ とけいどけい たいりあつて できた。

③ クイズ 文章を やすく ならわすことが できた。

3. していることや できるよくなったこと

① よりよい クイズ を つくることが できた。

② つくった クイズ を とくことが できた。

4. よく がんばった じぶんは すごいとおもふこと

① よく がんばった じぶんは すごいとおもふ。

よく がんばった じぶんに、ほめる ことばを プレゼントして あげましょう。

「うまくできたところ」を さらに がんばって、 「うまくできなかったところ」を こんどは うまく できるように、もう1つ クイズ を つくってみよう。

→ ふりかえろう つなげよう

領域ごとの学習の積み重ねを意識した「ふりかえろう つなげよう」のページを設定して、板書を使って学年を超えた振り返りと中学校との関連を明確にしました。

ふりかえろう つなげよう

もんだい 12を見つけてみよう。

カレンジャー 1ねんは、12か月

十二し 12しゅるいの どうぶつ

12はじかん、月や年に かんけいがあるかな。

1はここに、12こ(本)ずつ 入っているよ。1ダースという いいかたも あるよ。

12は、いろいろなところ で つかわれている かずだね。

いろいろな ところ で 4を 見つけて みよう。

きょうしつ の 中で、4を たくさん 見つけたよ。

コジセントの あなが 4つ。

いすの あしは 4本。

ドナが 4まい。

1日 の じゅぎょうが 4じかん。

もっと 大きい かずも しらべてみたいね。

12この ○の ならびかたを しらべてみよう。

チヨコレート

4こが 3れつ

3こが 4れつ

しき $4+4+4=12$

しき $3+3+3+3=12$

えんぴつ

6本が 2れつ

2本が 6れつ

しき $6+6=12$

しき $2+2+2+2+2+2=12$

12この ○を きれいに ならべて、しきで あらわそう。

しき $2+3+2+3+2=12$

ななめに 見ると...

$2+4+4+2=12$

$2+8+2=12$

$6+6=12$

ならべかたを かえると、べつ の しきで あらわせる。ほかの かずも いろいろ な ならべかたが できるかな。

下巻 P.58 ~ 59

今まで学習した数をふりかえりながら、もっと大きい数への期待感をもたせます。

4

新時代に対応した能力の育成

WEB上で実際に体験できます。

下巻 P.70 ~ 71

→ プログラミング的思考

プログラミング的思考を育成するために1年「すじみちをたててかんがえよう プログラミングのプ」～6年「筋道を立てて考えよう プログラミングのグ」まで掲載しました。これらはQRコードによって実際に操作することができますようにしています。

すじみちをたててかんがえよう
プログラミングの7
ロボくんをおもいどりにうごかしてみよう

ロボくんにしじを出してうごかそう。
ロボくんにはつぎの4つのしじができます。

右むく 左むく うしろむく まえに○括すすむ

① つぎのしじを出すとロボくんは①、②のどちらのほうこうをむきますか。
① 右むく ② 左むく
右むく 左むく
うしろむく うしろむく

② ロボくんにしじを出して火じからにげおくれた犬のところまでいかせましよう。

簡単な命令を組み合わせることで、ロボくんを意図通りに動かすことができます。

→ 「データの活用」の充実

各学年で統計の基礎・基本（表・グラフの作成等）とその活用について、単元を分けて掲載しました。また、6年では統計での問題解決方法であるPPDACサイクルについて具体例を示して、体験できるように配慮しました。

6 いくつあるかな

1 くだものかずをしらべましよう。

17 かずしらべ

1 ひろとさんのクラスではペットボトルのふたをあつめています。ひろとさんがこんしゅうなんこもってきたか つぎのくぼんを見てかんがえましよう。

月よう日に、3こもってきました。火よう日は、月よう日よりも2こおおい。水よう日は、火よう日よりも3こすくない。木よう日は、水よう日よりも4こおおい。金よう日は、木よう日とおなじ。

① それぞれのよう日にもってきたふたのかずをかましよう。
月よう日 個。 火よう日 + 2 = 個。 水よう日 - 3 = 個。 木よう日 + 4 = 個。 金よう日 個。

② それぞれのよう日にもってきたふたのかずだけいろをぬりましよう。

③ いらばん おおくもってきたとき いらばんすくないときのちがいはなんこですか。

上巻 P.70 ~ 71

下巻 P.60 ~ 61

前日との比較を考えることで、変化のようすにも関心もてるように配慮しました。

2 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
入門期	A(1) ア(ア)	上2～5ページ	2
① 10までのかず	A(1) ア(ア)	上6ページ	11
	A(1) ア(イ)	上7～20ページ	
	A(1) ア(ウ)	上21～23ページ	
② いくつといくつ	A(1) ア(エ)	上24～31ページ	7

③あわせていくつふえるといくつ	A(2) ア(ア)	上 32～33 ページ, 39～40 ページ	14
	A(2) ア(イ)	上 34～44 ページ	
	A(2) ア(ウ)	上 34～47 ページ	
④のこりはいくつちがいはいくつ	A(2) ア(ア)	上 50～51 ページ, 60～61 ページ	14
	A(2) ア(イ)	上 52～57 ページ	
	A(2) ア(ウ)	上 52～64 ページ	
⑤なんばんめかな	A(1) ア(イ)	上 66～69 ページ	3
	B(1) ア(ウ)	上 66～69 ページ	
⑥いくつあるかな	D(1) ア(ア)	上 70～71 ページ	2
	D(1) イ(ア)	上 70～71 ページ	
	(数学的活動)(1) エ	上 70～71 ページ	
1 学期末			1
⑦10 よりおおきいかずをかぞえよう	A(1) ア(イ)	上 74～79 ページ	8
	A(1) ア(ウ)	上 80～81 ページ	
	A(1) ア(オ)	上 76～79 ページ	
	A(1) イ(ア)	上 78～81 ページ	
⑧なんじなんじはん	C(2) ア(ア)	上 84～85 ページ	2
	C(2) イ(ア)	上 84～85 ページ	
⑨かたち (1)	B(1) ア(ア)	上 86～88 ページ	5
	B(1) ア(イ)	上 89～91 ページ	
	B(1) イ(ア)	上 86～91 ページ	
⑩たしたりひいたりしてみよう	A(2) ア(イ)	上 92～94 ページ	3
⑪たしざん	A(2) ア(ウ)	下 2～9 ページ	11
	[数学的活動](1) ウ	下 4～5 ページ	
⑫ひきざん	A(2) ア(ウ)	下 11～21 ページ	11
	[数学的活動](1) ウ	下 14～15 ページ	
⑬くらべてみよう	C(1) ア(ア)	下 23～25 ページ, 27, 30 ページ	8
	C(1) ア(イ)	下 26, 28～30 ページ	
	C(1) イ(ア)	下 23～30 ページ	
	[数学的活動](1) イ	下 25～26 ページ	
2 学期末			1
⑭20 より大きいかずをかぞえよう	A(1) ア(イ)	下 34～39 ページ	12
	A(1) ア(ウ)	下 40～42 ページ	
	A(1) ア(オ)	下 35～37 ページ	
	A(1) ア(カ)	下 42 ページ	
	A(1) ア(キ)	下 35～37 ページ	
	A(1) ア(ク)	下 35～36 ページ	
	A(1) イ(ア)	下 36 ページ	
	A(2) ア(エ)	下 43～46 ページ	
⑮なんじなんぶん	C(2) ア(ア)	下 48～50 ページ	2
	C(2) イ(ア)	下 48～50 ページ	
⑯たすのかなひくのかなずにかいてかんがえよう	A(1) ア(ク)	下 57 ページ	7
	A(2) ア(ウ)	下 51～56 ページ	
	A(2) イ(ア)	下 51～56 ページ	
⑰かずしらべ	D(1) ア(ア)	下 60～61 ページ	2
	D(1) イ(ア)	下 60～61 ページ	
⑱かたち (2)	B(1) ア(イ)	下 62～64 ページ	3
	[数学的活動](1) ア	下 62～64 ページ	
⑲1ねんのまとめをしよう			5
3 学期末			1
学年末			1

① 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-9	小学校	算数	算数	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 104・105	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 1ねん上・下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や取扱いに示す事項	ページ数
	なし			
合計				0

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容